

交付運用報告書

GCIエンダウメント ファンド (成長型／安定型)

成長型

第4期(2019年9月25日)	
基準価額	12,637円
純資産総額	4,072百万円
騰落率	1.6%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

安定型

第4期(2019年9月25日)	
基準価額	11,804円
純資産総額	3,023百万円
騰落率	2.1%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

追加型投信／内外／資産複合

第4期<決算日2019年9月25日>

作成対象期間：2018年9月26日～2019年9月25日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「GCIエンダウメントファンド(成長型／安定型)」は、2019年9月25日に第4期の決算を行いました。

当ファンドは、投資対象ファンド(投資信託証券)を通じて先進国、新興国を含む世界各国の株式、債券、REIT等に分散投資することで、グローバルな経済成長に沿った収益の獲得を目指します。また、グローバル分散投資によりポートフォリオのリスク低減を図ることとしており、かかる投資方針に沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社GCIアセット・マネジメント

東京都千代田区西神田3-8-1

お問い合わせ先(クライアント・リレーションズ・グループ)

TEL: 03-3556-5040(営業日の9:00~17:00)

URL: <https://www.gci.jp>

当ファンドは、信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の方法により閲覧、ダウンロードすることができます。

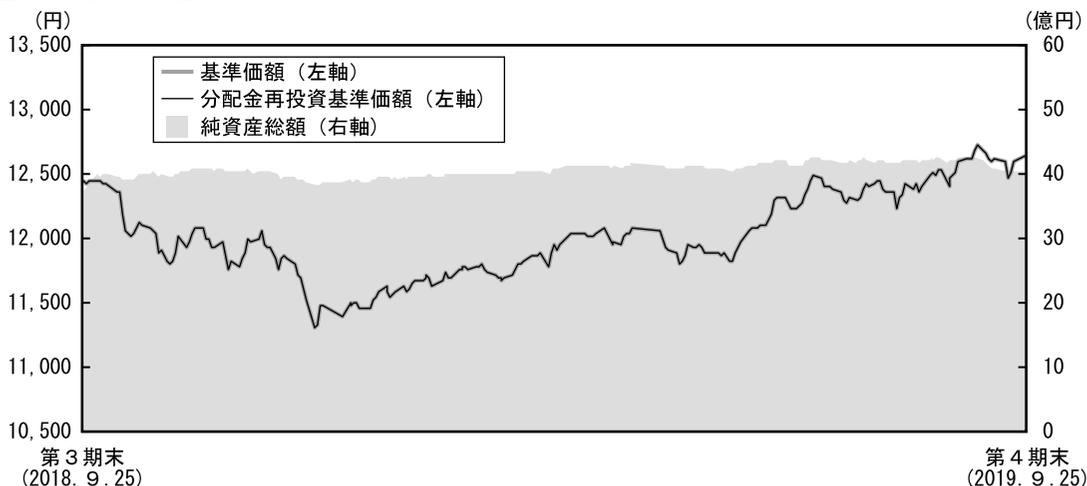
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセスし、「ファンド」から当ファンドの詳細ページを表示させ、当該ページから運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

なお、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

運用経過

（成長型）

■ 基準価額等の推移



第4期首：12,444円

第4期末：12,637円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：1.6%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

GCIエンダウメントファンド（成長型）の基準価額は、期初から2018年末にかけて下落基調となったものの、2019年に入ってから堅調に推移し、当期間のリターンは+1.6%となりました。

期初から2018年末にかけては、米中貿易摩擦への懸念が高まったことや、英国のEU離脱交渉が難航したことなどが重石となり、株式市場は大きく下落する展開となりました。また米国で利上げ観測が強まったことなどから債券市場も下落する局面が目立ち、オルタナティブ投資のリターンも振るわなかったことから、当ファンドの基準価額も下落基調となりました。2019年に入ると、各国の中央銀行が緩和的な方向に舵を切ったことから、投資家のリスク回避ムードが後退し、株式市場は回復、債券市場は非常に堅調に上昇する展開となりました。当ファンドが特徴とするオルタナティブ戦略も、大きくパフォーマンスを回復しました。これらを受けて当ファンドの基準価額も回復し、当期間を通じては小幅な上昇となりました。

詳しくは「投資環境」をご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細 （成長型）

項目	第4期		項目の概要
	2018年9月26日～2019年9月25日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	84円	0.702%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,033円です。
(投信会社)	(39)	(0.324)	委託した資金運用と受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面の作成等の対価
(販売会社)	(39)	(0.324)	交付運用報告書等の各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.024	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数×10,000
(投資信託受益証券)	(3)	(0.024)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	2	0.017	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数×10,000
(保管費用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.011)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、マイナス金利利息及び信託事務の処理に要するその他の費用
合計	89	0.743	

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資対象ファンド（投資信託証券）（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。当該投資対象ファンドの直近の計算期末時点における費用明細が取得できるものについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」に表示することとしています。
- (注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しています。

（安定型）

項目	第4期		項目の概要
	2018年9月26日～2019年9月25日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	79円	0.702%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 当期中の平均基準価額は11,310円です。
（投信会社）	(37)	(0.324)	委託した資金運用と受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面の作成等の対価
（販売会社）	(37)	(0.324)	交付運用報告書等の各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.030	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数×10,000
（投資信託受益証券）	(3)	(0.030)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	2	0.018	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数×10,000
（保管費用）	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.012)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、マイナス金利利息及び信託事務の処理に要するその他の費用
合計	84	0.750	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資対象ファンド（投資信託証券）（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。当該投資対象ファンドの直近の計算期末時点における費用明細が取得できるものについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」に表示することとしています。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しています。

■最近5年間の基準価額等の推移

（成長型）

（2014年9月25日～2019年9月25日）

最近5年間の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を再投資したもとして計算しています。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではありませんので、ご注意ください。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

最近5年間の年間騰落率

	2015年9月25日 設定日	2016年9月26日 決算日	2017年9月25日 決算日	2018年9月25日 決算日	2019年9月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,767	11,386	12,444	12,637
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	7.7	5.7	9.3	1.6
純資産総額 (百万円)	163	554	1,040	3,747	4,072

(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 騰落率は1年前の決算日当日との比較です。

（安定型）
最近5年間の推移

（2014年9月25日～2019年9月25日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を再投資したもとして計算しています。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではありませんので、ご注意ください。

（注）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

最近5年間の年間騰落率

	2015年9月25日 設定日	2016年9月26日 決算日	2017年9月25日 決算日	2018年9月25日 決算日	2019年9月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,637	10,839	11,565	11,804
期間分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	6.4	1.9	6.7	2.1
純資産総額 (百万円)	108	464	2,287	4,672	3,023

（注）設定日の基準価額は1万円当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注）騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

（成長型）／（安定型）

■投資環境

【先進国株式】

先進国の株式市場はまちまちとなりました。期初から2018年末にかけては、米中貿易摩擦への懸念が高まったことや、英国のEU離脱交渉が難航したことなどが重石となり、世界的に株式市場は大きく下落する展開となりました。2019年に入ると、FRBが緩和的な金融政策に舵を切るとの見方から、株式市場は大きく回復し、2018年後半の下げをほぼ取り戻す形となりました。その後FRBは実際に利下げを行いました。米中貿易摩擦懸念が一進一退する中、株式市場は緩やかに上昇する展開となりました。

【新興国株式】

新興国の株式市場は、小幅に上昇しました。期初から2018年末にかけては、米中貿易摩擦への懸念等により新興国株式市場も下落基調となりましたが、2019年に入ると先進国中央銀行の緩和的な金融政策の影響を受け、上昇基調に転じました。しかし2019年後半は、米中貿易摩擦懸念が一進一退し、新興国株式市場は不安定な値動きとなり、当期を通じては小幅な上昇となりました。

【先進国債券】

先進国債券は大きく上昇しました。期初から2018年末にかけては、米国で利上げ観測が高まったことなどにより、債券市場が下落する局面もありました。しかし2019年に入ってからFRBが緩和方向に舵を切り、各国中央銀行が緩和的な金融政策で足並みが揃う形となったことにより、債券市場は非常に堅調に上昇しました。

【REIT市場】

REIT市場は大きく上昇しました。期初から2018年末にかけては下落する局面もあったものの、2019年に入ってからFRBをはじめ各国の中央銀行が緩和的な金融政策を取ったため、各国で長期金利が低下し、REIT市場には追い風となりました。日本のREIT市場も、緩和的な金融政策の好影響と堅調な不動産市況が続いたことを受け、大幅に上昇しました。

【オルタナティブ】

ヘッジファンドのパフォーマンスは大きく上下に変動したものの、当期を通じてはほぼ横ばいとなりました。期初から2018年末にかけては、米中対立の激化やトランプ大統領の政権運営への懸念、英国のEU離脱交渉難航などを背景として、世界的にリスク回避の動きが強まる中、多くのヘッジファンド戦略にとって利益の出しにくい環境となり、パフォーマンスは低迷しました。2019年に入ると、リスク回避のムードが後退し、株式、債券ともに上昇基調となる中、多くのヘッジファンド戦略にとって利益の出しやすい環境が戻り、2018年後半のマイナスを取り戻す形でパフォーマンスが回復しました。

【為替相場】

ドル円相場は、米国の金融政策が緩和的方向に舵を切り、長期金利が低下したことなどを受け、一進一退しつつも当期を通じて円高傾向となりました。当ファンドはドル建て資産を保有していますが、為替リスクをヘッジしているため、為替市場の動向による影響は限定的です。

**■当該投資信託のポートフォリオ
（成長型）**

主として、各国のETFとヘッジファンド（GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスA）に投資しており、当期初に定めた目標配分比率に従って運用を行いました。この目標配分比率は長期間にわたるすばらしい運用実績を残してきたエンダウメント（大学財団）型の投資戦略をお手本に定め、オルタナティブ投資を積極的に活用しつつ、リスクとリターンの源泉を分散・多様化するとともに運用コストにも注意を払い、運用資産の長期的成長を効率的に目指しています。

組入ファンドの当期末時点における組入比率については、後掲の「当該投資信託のデータ」の「当該投資信託の組入資産の内容」をご参照ください。

（安定型）

主として、各国のETFとヘッジファンド（GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスA）に投資しており、期初に定めた目標配分比率に従って運用を行いました。この目標配分比率は長期間にわたるすばらしい運用実績を残してきたエンダウメント（大学財団）型の投資戦略をお手本に定め、オルタナティブ投資を積極的に活用しつつ、リスクとリターンの源泉を分散・多様化するとともに運用コストにも注意を払い、運用資産の長期的成長を効率的に目指しています。

組入ファンドの当期末時点における組入比率については、後掲の「当該投資信託のデータ」の「当該投資信託の組入資産の内容」をご参照ください。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

（成長型）／（安定型）

各ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■分配金

（成長型）

収益分配金については、基準価額水準、市況動向等を勧案して分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳】

（単位：1万口当たり・税引前）

項目	第4期	
	2018年9月26日～2019年9月25日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,637

（注）円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（安定型）

収益分配金については、基準価額水準、市況動向等を勧案して分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳】

（単位：1万口当たり・税引前）

項目	第4期	
	2018年9月26日～2019年9月25日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,803

（注）円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

（成長型）／（安定型）

当ファンドの決算日である2019年9月25日に、一年に一度の基本資産配分（ターゲット・ポートフォリオ）の検討を行い、現行の配分維持を決定しました。その前提となるビッグ・ピクチャーは、10年程度の時間軸でマクロ環境を俯瞰したものです。次の通り、大枠に変更ありません。

第一に、21世紀直前に本格化したグローバル化という世界史的イベントに伴い、ディスインフレ環境が続いています。グローバル化の恩恵を最大限に享受してきた新興国経済の急成長が成熟してきたことと、加えて、世界規模で急速に進展する少子高齢化の影響もあり、このディスインフレ環境は長期化するものと考えています。

第二に、2008年に起こったグローバル金融危機後、世界の経済成長を支えてきた中国を筆頭とする新興国圏の成長速度が大きく鈍化したことが金融市場に影響を与える可能性があります。その中で、米国経済が相対的に好調であるとのコンセンサスの下、ドル高基調が続いています。ドル高は、新興国経済にとっては逆風です。1997年のアジア通貨危機がその典型例です。伸び率が低下したとはいえ、依然として成長を続ける中国経済ですが、景気循環や人口動態など国内固有の要因に加えて、ドル高という負荷が二重にかかると考えています。

第三に、2008年の金融危機以降一貫して続いてきた主要国中央銀行の金融政策に引き続き注目しています。2009年以降、債券・株式を含むほとんどの資産価格が上昇し続ける特異な環境でしたが、その持続可能性と、資本の流れに変化が生じた場合にどのようなことが起きるのか注視しています。

以上のビッグ・ピクチャーをもとに、調整局面到来の可能性も視野に入れて慎重姿勢としてきた基本資産配分は変更せず、現状を維持いたします。

オルタナティブ投資を得意とする当社の認識では、世界中の利回りが低下し、信用スプレッドがつぶれ、実物など低流動性資産にも大量の資本が向かった結果、流動性プレミアムも失われました。2017年春以降はボラティリティも過去経験したことのない水準まで下落し、基調としては低迷しています。世界中に溢れかえる潤沢な待機資金が、リターンの源泉を求めているのです。経験的には、いつ大きな反動・調整が入ってもおかしくありません。

一方、情報技術革新の大波はグローバルな実態経済に大きなインパクトを与えています。高値圏を更新している米国株式市場のバリュエーションに対しては警戒感も根強いのですが、こうした警戒感が払拭されるような株高に対する肯定的センチメントが醸成されない限り、むしろ循環的な株高が継続するのかもしれません。

当戦略は、どのような市場環境であっても、下落リスクを想定範囲内に抑制することに努め、資産価値の保全を最優先しながら、長期的安定的な成長を目指してまいります。

お知らせ

（成長型）／（安定型）

◇約款変更

該当事項はありません。

◇運用体制の変更

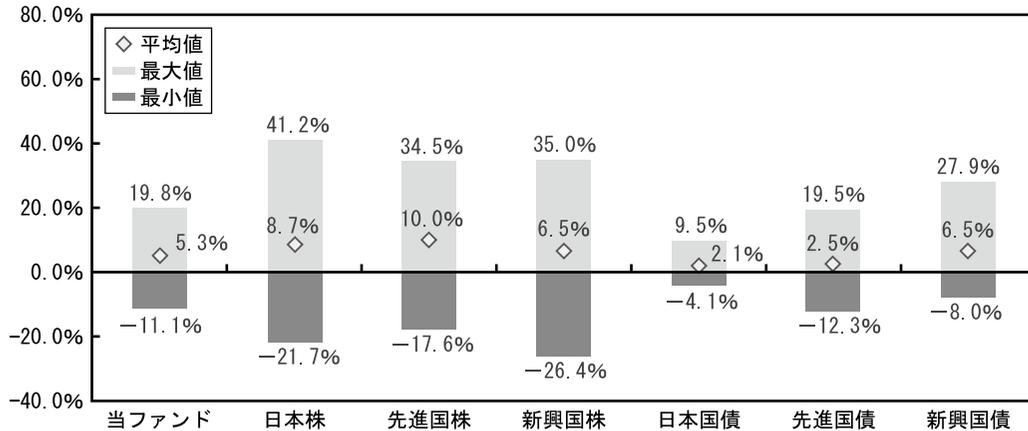
該当事項はありません。

当該投資信託の概要

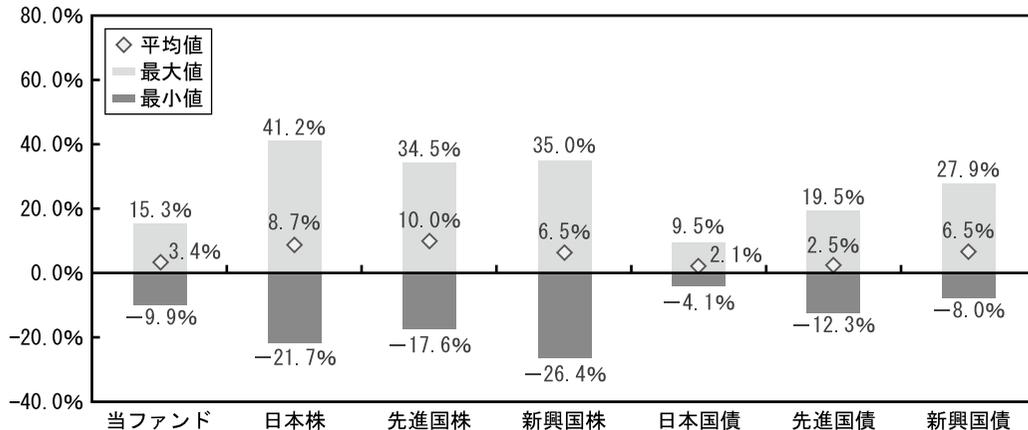
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として無期限（2015年9月25日設定）	
運用方針	成長型	投資資産のうちリスク資産のウエイトを増やしつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。
	安定型	投資資産のうちリスク資産のウエイトを抑制しつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して安定的な運用を行います。
主要投資対象	<p>以下の投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOPIX連動型上場投資信託 ・ バンガード・S&P500 ETF ・ バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF ・ バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF ・ バンガード・米国トータル債券市場ETF ・ バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり） ・ NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信 ・ バンガード・リアル・エステート ETF ・ GCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスA ・ GCIマネープールマザーファンド 	
運用方法	投資対象ファンド（投資信託証券）を通じて先進国、新興国を含む世界各国の株式、債券、リートなどに分散投資することで、グローバルな経済成長に沿った収益の獲得を目指します。また、グローバル分散投資によりポートフォリオのリスク低減を図ります。	
分配方針	<p>年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>※将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

（成長型）



（安定型）



期間：2014年9月～2019年8月

（注）当ファンドについては2016年9月～2019年8月の3年間、代表的な資産クラスについては2014年9月～2019年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、すべての代表的な資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率を記載していますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<代表的な各資産クラスの指数>

- 日本株：Morningstar 日本株式（グロス・リターン）
 - 先進国株：Morningstar 先進国株式（除く日本、グロス・リターン）
 - 新興国株：Morningstar 新興国株式（グロス・リターン）
 - 日本国債：Morningstar 日本国債（グロス・リターン）
 - 先進国債：Morningstar グローバル国債（除く日本、グロス・リターン）
 - 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債（グロス・リターン）
- ※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ※Morningstar 日本株式（グロス・リターン）は、Morningstar, Inc. が発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- ※Morningstar 先進国株式（除く日本、グロス・リターン）は、Morningstar, Inc. が発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- ※Morningstar 新興国株式（グロス・リターン）は、Morningstar, Inc. が発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- ※Morningstar 日本国債（グロス・リターン）は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- ※Morningstar グローバル国債（除く日本、グロス・リターン）は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- ※Morningstar 新興国ソブリン債（グロス・リターン）は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

GCIエンダウメントファンド（成長型/安定型）（以下、「当ファンド」といいます）は、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc. の関連会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」といいます）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または一般的な内外の株式・債券・REIT市場の騰落率と連動する Morningstarインデックスの能力について、当ファンドの所有者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。株式会社GCIアセット・マネジメントとMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」といいます）の使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが株式会社GCIアセット・マネジメント又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、株式会社GCIアセット・マネジメント又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、株式会社GCIアセット・マネジメント、GCIエンダウメントファンド（成長型/安定型）の受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

（成長型）

◇組入ファンド等

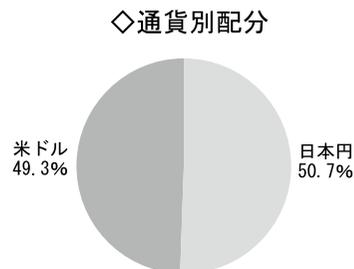
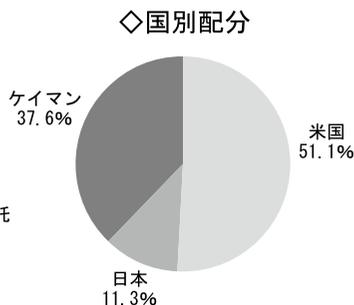
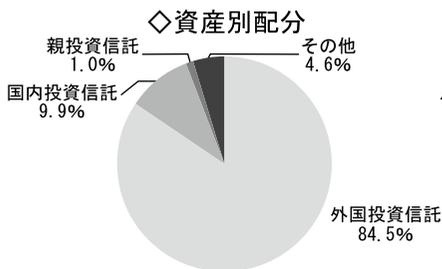
（組入銘柄数：10銘柄）

	第4期末 (2019年9月25日)
GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA	35.9%
バンガード・S&P500 ETF	16.7%
バンガード・米国トータル債券市場ETF	12.2%
バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	9.6%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	5.0%
TOPIX連動型上場投資信託	4.9%
バンガード・リアル・エステート ETF	4.8%
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）	2.9%
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	2.4%
GCIマネーボールマザーファンド	1.0%
その他	4.6%

（注）組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の比率です。

（注）上位3ファンドについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」をご参照ください。

（注）その他は現金・未払金等です。



（注）資産別・通貨別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

（注）国別配分は、国・地域別による配分で比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

（注）資産別配分について、キャッシュ等については「その他」に含めております。

■純資産等

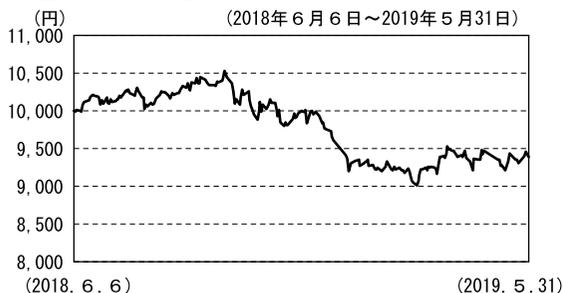
項目	第4期末 (2019年9月25日)
純資産総額	4,072,130,438円
受益権総口数	3,222,319,795口
1万口当たり基準価額	12,637円

（注）当期中における追加設定元本額は1,136,687,550円、一部解約元本額は926,009,448円です。

■組入上位ファンドの概要 （成長型）

《GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA》

◇基準価額の推移



◇組入上位10銘柄

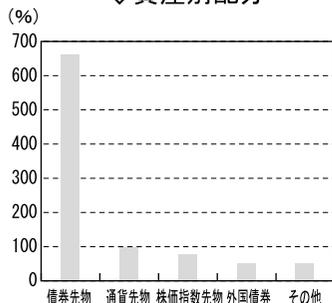
2019年5月31日

	銘柄名	種類	通貨	国	組入比率 (%)
1	10-year JGB Futures Jun19	債券先物	日本円	日本	483.4
2	Euro-Bund Futures Jun 19	債券先物	ユーロ	ドイツ	89.4
3	Japanese Yen Futures Jun 19	通貨先物	米ドル	米国	78.5
4	10-Yr US Treasury Note Futures Sep 19	債券先物	米ドル	米国	66.3
5	S&P Canada 60 Index Futures Jun 19	株価指数先物	カナダドル	カナダ	52.7
6	TREASURY BILL 01/10/19	外国債券	米ドル	米国	28.8
7	TREASURY BILL 07/05/19	外国債券	米ドル	米国	20.4
8	French 10-Year Bond Future Jun 19	債券先物	ユーロ	ドイツ	20.1
9	Euro FX Futures Jun 19	通貨先物	米ドル	米国	17.3
10	STOXX® Europe 600 Index Futures Jun 19	株価指数先物	ユーロ	ドイツ	12.6
組入銘柄数					13銘柄

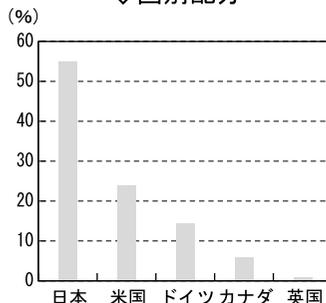
(注) 銘柄は、GCIシステマティック・マクロファンド Vol10 クラスAが実質保有している銘柄です。

(注) 国は、先物が上場している取引所の所在地および債券は発行体の所在地です。

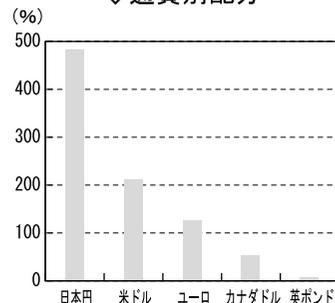
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日現在、同ファンドが実質保有している銘柄にかかるものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入銘柄の評価額の割合、国別配分の比率は組入銘柄の評価総額に対する各組入銘柄の評価額の割合です。

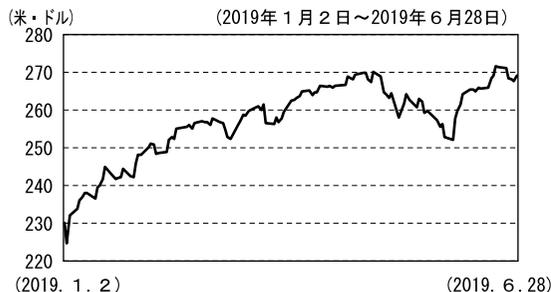
(注) 国別配分は、先物が上場している取引所の所在地に関する割合です。

(注) 通貨別配分は、基準通貨に関する割合です。

■組入上位ファンドの概要 （成長型）

《バンガード・S&P500 ETF》

◇基準価額の推移



◇費用明細

項目	比率
経费率（エクスペンス・レシオ）	0.03%

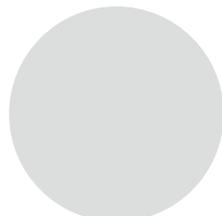
※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、直近の目論見書より経费率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経费率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経费率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

◇組入上位10銘柄

2019年6月30日

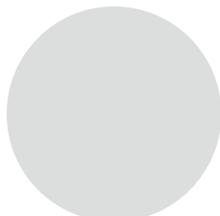
	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	Microsoft Corp.	株式	米ドル	4.16
2	Apple Inc.	株式	米ドル	3.50
3	Amazon.com Inc.	株式	米ドル	3.17
4	Facebook Inc.	株式	米ドル	1.88
5	Berkshire Hathaway Inc.	株式	米ドル	1.62
6	Johnson & Johnson	株式	米ドル	1.50
7	JPMorgan Chase & Co.	株式	米ドル	1.47
8	Alphabet Inc.	株式	米ドル	1.34
9	Exxon Mobil Corp.	株式	米ドル	1.31
10	Alphabet Inc.	株式	米ドル	1.31
組入銘柄数				509銘柄

◇資産別配分



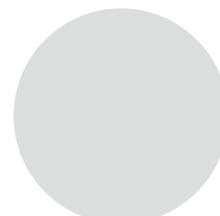
株式
100.0%

◇国別配分



米国
100.0%

◇通貨別配分



米ドル
100.0%

(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものです。

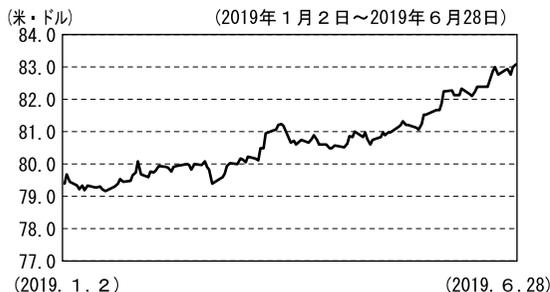
(注) 費用明細、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

■組入上位ファンドの概要 （成長型）

《バンガード・米国トータル債券市場ETF》

◇基準価額の推移



◇費用明細

項目	比率
経费率（エクスペンス・レシオ）	0.035%

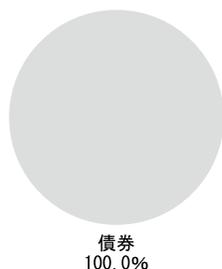
※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、直近の目論見書より経费率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経费率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経费率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

◇組入上位10銘柄

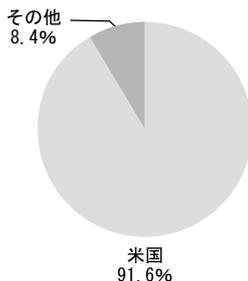
2019年6月30日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	FNMA 30YR TBA(REG A) 3.5% 09/01/2049	モーゲージ証券	米ドル	0.44
2	TREASURY NOTE 2.875% 08/15/2028	債券	米ドル	0.43
3	TREASURY NOTE 2.125% 05/15/2025	債券	米ドル	0.41
4	TREASURY NOTE 2.125% 03/31/2024	債券	米ドル	0.41
5	TREASURY BOND 2.875% 05/15/2049	債券	米ドル	0.41
6	TREASURY NOTE 3.125% 11/15/2028	債券	米ドル	0.40
7	TREASURY NOTE 1.75% 02/28/2022	債券	米ドル	0.40
8	TREASURY NOTE 2% 05/31/2024	債券	米ドル	0.39
9	TREASURY NOTE 2.375% 05/15/2029	債券	米ドル	0.37
10	TREASURY NOTE 2.375% 03/15/2022	債券	米ドル	0.37
組入銘柄数				8,557銘柄

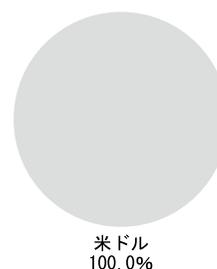
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものです。

(注) 費用明細、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

（安定型）

◇組入ファンド等

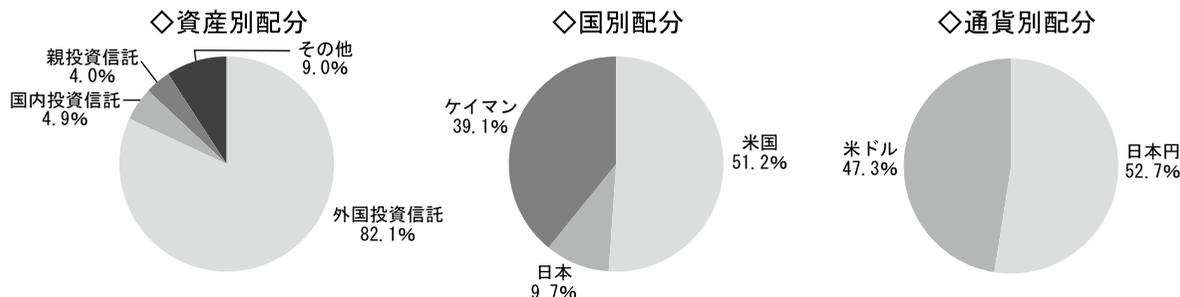
（組入銘柄数：9銘柄）

	第4期末 (2019年9月25日)
GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA	35.5%
バンガード・米国トータル債券市場ETF	24.2%
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF (米ドルヘッジあり)	8.2%
バンガード・S&P500 ETF	7.1%
バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	4.7%
GCIマネーパールマザーファンド	4.0%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	2.5%
TOPIX連動型上場投資信託	2.4%
バンガード・リアル・エステート ETF	2.4%
その他	9.0%

（注）組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の比率です。

（注）上位3ファンドについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」をご参照ください。

（注）その他は現金・未払金等です。



（注）資産別・通貨別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

（注）国別配分は、国・地域別による配分で比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

（注）資産別配分について、キャッシュ等については「その他」に含めております。

■純資産等

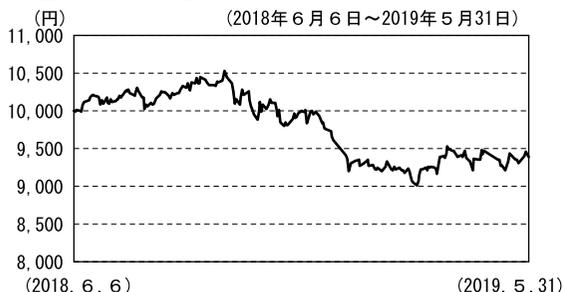
項目	第4期末 (2019年9月25日)
純資産総額	3,023,162,532円
受益権総口数	2,561,130,870口
1万口当たり基準価額	11,804円

（注）当期中における追加設定元本額は492,972,162円、一部解約元本額は1,971,771,783円です。

■組入上位ファンドの概要 （安定型）

《GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA》

◇基準価額の推移



◇組入上位10銘柄

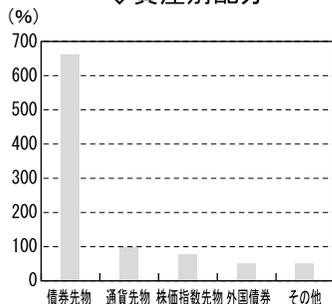
2019年5月31日

	銘柄名	種類	通貨	国	組入比率 (%)
1	10-year JGB Futures Jun19	債券先物	日本円	日本	483.4
2	Euro-Bund Futures Jun 19	債券先物	ユーロ	ドイツ	89.4
3	Japanese Yen Futures Jun 19	通貨先物	米ドル	米国	78.5
4	10-Yr US Treasury Note Futures Sep 19	債券先物	米ドル	米国	66.3
5	S&P Canada 60 Index Futures Jun 19	株価指数先物	カナダドル	カナダ	52.7
6	TREASURY BILL 01/10/19	外国債券	米ドル	米国	28.8
7	TREASURY BILL 07/05/19	外国債券	米ドル	米国	20.4
8	French 10-Year Bond Future Jun 19	債券先物	ユーロ	ドイツ	20.1
9	Euro FX Futures Jun 19	通貨先物	米ドル	米国	17.3
10	STOXX® Europe 600 Index Futures Jun 19	株価指数先物	ユーロ	ドイツ	12.6
組入銘柄数					13銘柄

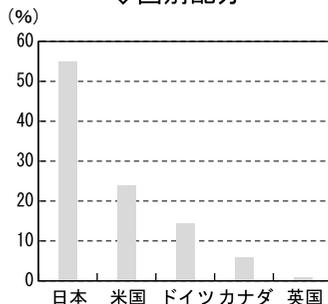
(注) 銘柄は、GCIシステマティック・マクロファンド Vol10 クラスAが実質保有している銘柄です。

(注) 国は、先物が上場している取引所の所在地および債券は発行体の所在地です。

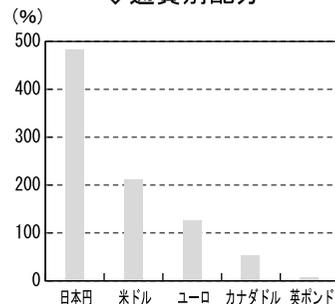
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日現在、同ファンドが実質保有している銘柄にかかるものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入銘柄の評価額の割合、国別配分の比率は組入銘柄の評価総額に対する各組入銘柄の評価額の割合です。

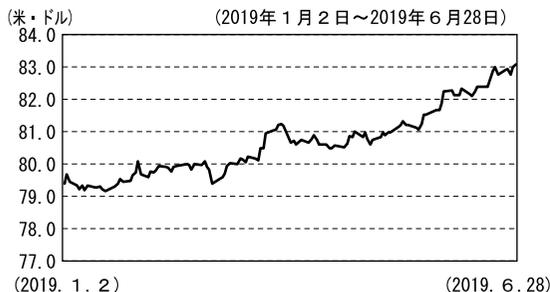
(注) 国別配分は、先物が上場している取引所の所在地に関する割合です。

(注) 通貨別配分は、基準通貨に関する割合です。

■組入上位ファンドの概要 （安定型）

《バンガード・米国トータル債券市場ETF》

◇基準価額の推移



◇費用明細

項目	比率
経费率（エクスペンス・レシオ）	0.035%

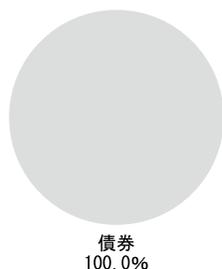
※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、直近の目論見書より経费率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経费率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経费率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

◇組入上位10銘柄

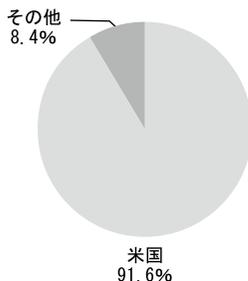
2019年6月30日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	FNMA 30YR TBA(REG A) 3.5% 09/01/2049	モーゲージ証券	米ドル	0.44
2	TREASURY NOTE 2.875% 08/15/2028	債券	米ドル	0.43
3	TREASURY NOTE 2.125% 05/15/2025	債券	米ドル	0.41
4	TREASURY NOTE 2.125% 03/31/2024	債券	米ドル	0.41
5	TREASURY BOND 2.875% 05/15/2049	債券	米ドル	0.41
6	TREASURY NOTE 3.125% 11/15/2028	債券	米ドル	0.40
7	TREASURY NOTE 1.75% 02/28/2022	債券	米ドル	0.40
8	TREASURY NOTE 2% 05/31/2024	債券	米ドル	0.39
9	TREASURY NOTE 2.375% 05/15/2029	債券	米ドル	0.37
10	TREASURY NOTE 2.375% 03/15/2022	債券	米ドル	0.37
組入銘柄数				8,557銘柄

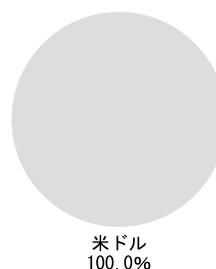
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものです。

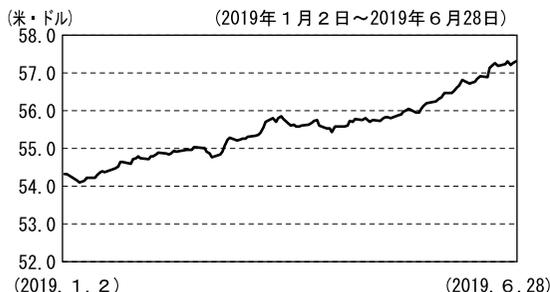
(注) 費用明細、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

■組入上位ファンドの概要 （安定型）

《バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）》

◇基準価額の推移



◇費用明細

項目	比率
経費率（エクスペンス・レシオ）	0.09%

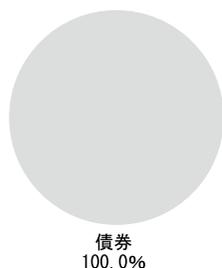
※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、直近の目論見書より経費率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経費率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経費率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

◇組入上位10銘柄

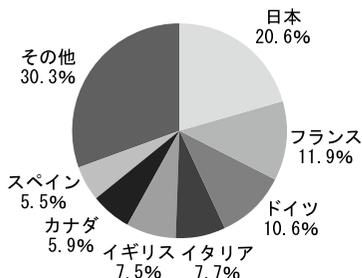
2019年4月30日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	FRANCE (REPUBLIC OF) 1.75% 05/25/2023	債券	ユーロ	0.63
2	GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 0.25% 02/15/2029	債券	ユーロ	0.58
3	ITALY (REPUBLIC OF) 2.1% 07/15/2026	債券	ユーロ	0.47
4	ITALY (REPUBLIC OF) 2.45% 10/01/2023	債券	ユーロ	0.47
5	JAPAN (GOVERNMENT OF) 5YR #132 0.1% 06/20/2022	債券	日本円	0.46
6	FRANCE (REPUBLIC OF) 0.75% 11/25/2028	債券	ユーロ	0.46
7	ITALY BUONI POLIENNALI DEL TESORO 3.35% 03/01/2035	債券	ユーロ	0.44
8	ITALY (REPUBLIC OF) 2.05% 08/01/2027	債券	ユーロ	0.42
9	FRANCE (REPUBLIC OF) 0% 03/25/2024	債券	ユーロ	0.41
10	JAPAN (GOVERNMENT OF) 5YR #137 0.1% 09/20/2023	債券	日本円	0.41
組入銘柄数				4,871銘柄

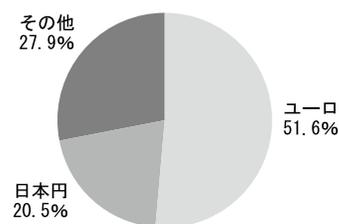
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものです。

(注) 費用明細、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。